

# 一般質問



農業の担い手を育成・確保していきます

滝田 一郎 議員

## 認定農業者の減少対策について

質問(滝田 一郎議員)

大田原市では、県内で最も多くの認定農業者がおりますが、最近減少傾向にあります。そこで、その減少対策を講ずるべきと考えますが市の見解を伺います。

答弁(産業振興部長)

認定農業者制度は、市町村が地域の実情に即して、効率的、効果的な農業経営の目標等を内容とする基本構想を策定し、この目標を目指して農業者が作成した農業経営改善計画を

認定し、認定を受けた農業者に対し支援措置を講ずるものです。

本市における認定農業者は、年々減少傾向にあります。また、60歳以上の農業者の割合が全体の57.8%であり、認定農業者の高齢化が進んでいます。

認定農業者減少対策として、兼業の認定において、常雇として恒常的に会社に勤務している方は農業が主とは言えないため、認定農業者の対象としていませんが、農閑期等で他産業

へ一時的に就業している方については認定農業者の対象としています。

本市における認定農業者は、昨年8月に策定した人・農地プランで今後の地域農業を支えていく地域の中心となる経営体として位置づけをしていますので、今後についても、農業を主業とし、5年後の農業経営改善計画の目標達成を目指し、プロの農業経営者として頑張っていくようとする農業者等を認定農業者の対象としていきたいと考えています。

これからも、意欲と能力があり、地域農業の担い手となる認定農業者の育成確保に努めていきます。

前野 良三 議員

## デマンドタクシーについて

質問(前野良三議員)

本年4月1日より運行開始したデマンドタクシーの利用状況と黒羽地区以外の大田原及び湯津上地区への運行拡大の予定はあるのか伺います。

答弁(市民生活部長)

デマンド交通は、平成25年4月1日から黒羽、川西、両郷、須賀川地区内の区域運行として、自宅近くの専用のバス停と区域内の指定の行き先の間を巡回する形で運行を開始しました。現在は1日9便、日曜、祝日

を除く毎日、要望があったときに運行しています。

利用状況については、4月の延べ利用人数が149名、1日平均6名でありましたが、5月は230名になっており、1日平均10人程度まで伸びてきています。

現在運行事業者が中心となり、デマンド交通に対するPR活動を実施するとともに、6月1日からは運行便数を5便から9便に増やしています。また、指定の行き先についても金融

機関や公民館、高齢者ほほえみセンターなど大幅に追加したので、利用者がさらに増えることを期待しています。

次に、運行区域の拡大については、昨年3月に策定した大田原市地域公共交通総合連携計画に基づき、地域の需要に応じた公共交通の再編を目指すとともに、現在運行している路線バスルートとの重複を避けたデマンド交通の運行形態を検証しながら、その結果を踏まえ、来年度以降に向けた再編の準備を進めていきます。



黒羽地区を走るデマンドタクシー車両